

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良県広域消防組合			代表者名	消防長 寺崎 至亮
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報システム課	連絡先電話番号	0744-26-0119
担当者役職	指導官	担当者氏名	増田 通久	連絡先E-mail	
住所	634-0816 奈良県橿原市慈明寺町149番地の3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DX推進プロジェクト
概要	厳しい財政状況の中、災害増により業務量は増加しており、より効率的かつ効果的な組織運営が必要となる。アドバイザーの方に当組合の運営状況を把握していただいたうえで、専門的第三者視点から見た有効なデジタル化の提案及び縮小・削減できる業務の検討に、数多くの助言をいただきたい。		
支援を求める分野	働き方 その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻		
	令和6年11月7日	支援・助言	15時00分	17時00分	
				活動時間(分)	120

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山澤 浩幸
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">「DXにおける人員削減の可能性について」のレポートについて、複数回の助言をいただき完成させることができたこと。複数の課題において外部委託の有効性について指摘いただいております、専門員の雇用の必要性について検討することができたこと。住基データの標準化について助言をいただき、消防業務(出動指令ポイント)と関連付けることで出動場所の間違え防止につながり、住民サービスの向上につながることが分かったこと。
アドバイザーへの要望事項	第5回の会議ではDX推進プロジェクトにおける課題を整理した形で確認していただき、最終的な見解をいただきたいと考えております。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	4人
	属性	自治体職員	住民
	人数	4	企業・団体
			その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	事務職員の人員削減につながるシステムの導入及び業務改善として不要な業務の廃止や変更に向け、DX推進プロジェクトを立ち上げて検討を進めている。現在、当該プロジェクト内で抽出された課題の解消に取り組んでいるが、当組合職員だけで解決していくことは困難である。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	事務職員の人員削減につながるシステムの導入及び不要な業務の廃止や変更を進めていくために、デジタル化を含めた業務改善を進め、職員個々の不要な負担を減らし、現場対応職員の人員配備を強化することによって、質の高い住民サービスの提供を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①レポート「DXにおける人員削減の可能性について」についての助言 ②消防業務における台帳の電子化に向けた効率的な手法について ③業務継続に向けたリモートワーク導入時の注意点 ④マイクロソフトoffice以外のライセンスの使用状況について ⑤再任用職員や役職定年職員の有効な配置について ⑥庁舎保全等の専門的な事務について	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	①第三者視点からの包括的な助言をいただき、消防業務とDXの関係性を明確にすることができた。 ②全資料を電子化せず紙ベースの保管も継続し、見出し部分をデータ管理することを検討する。 ③業務面、勤務管理面ともに職員のモラルによるため、運用時は一定のルール化が必要。 ④将来的にマイクロソフトofficeだけでなく可能な範囲で代替ソフトの利用を検討する。 ⑤人事の考え方次第であるが、適材適所であるだけでなく新人のサポートも視野に配置を検討。 ⑥専門職員の増員や外部委託を検討する。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 第1回から第4回までの協議での助言をもとに「DXにおける人員削減の可能性について」(講師監修)をとりまとめた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	第5回会議にて残りの課題について助言をいただくため、現時点で具体的に改善又は解決されなかった内容はない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 第5回目の会議では、今までの検討内容及びDX推進プロジェクトでの課題について正式な課題解決策として整理していきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進プロジェクトでの課題解消のため、講師からいただいた助言を一つの指針として反映させていきたい。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

